

話し言葉コーパスの構築と分析

イタリア、フランス、日本から、話し言葉研究の世界的第一人者を迎えて、音声言語を収集し、コーパスを構築し、言語学的に処理する方法を説明します。また、話し言葉コーパスを分析した具体的な事例を紹介します。対象言語は主にロマンス諸語（フランス語、イタリア語など）と日本語ですが、他の言語にも応用可能な幅広い観点から議論を行います。講義は日本語の通訳付きで、英語で行われます。

10:30-12:00

日本語話し言葉コーパスの構築と分析： 回顧と展望

丸山岳彦（専修大学）

13:00-14:30

段階的韻律構造とマクロ統語構造： 話し言葉の分析のための概念

Philippe Martin（パリ第7大学・LLF, UFRL）

14:45-16:15

ロマンス諸語話し言葉コーパス（C-ORAL-ROM）： 話し言葉の収集と転記，韻律的手がかりによる 発話ごとのテキスト・音声の同期

—オースティンによる語用論の伝統に基づいて—
Emanuela Cresti & Massimo Moneglia
（フィレンツェ大学・LABLITA）

16:30-18:00

自然発話の語用論的基礎と情報構造

Emanuela Cresti & Massimo Moneglia
（フィレンツェ大学・LABLITA）



日時 2016年9月24日（土）10:30～18:00
会場 名古屋大学大学院国際開発研究科棟8階 第1会議室
受講料 無料（要申込）
募集期間 8月1日（月）から9月16日（金）
申込 メールにて受付（下記HPから詳細を確認ください）
主催 名古屋大学大学院国際開発研究科
<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global>
共催 日本フランス語学会